

富士大学研究者情報

経済学部経済学科

准教授

齋藤 義徳

さいとう よしのり

研究者基本情報

生 年	昭和42（1967）年
最終学歴	東北学院大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学
取得学位	文学修士（英文学）
学位取得年月	平成6（1994）年3月
出身地	宮城県
専門分野	英文学・英語教育
担当講義	基礎英語、展開英語、教養演習
所属学会	日本英文学会(東北支部評議委員)、大学英語教育学会、仙台シェイクスピア研究会
長期研究テーマ	喜劇の持つ特性・本質。求められる大学英語教育。
短期研究テーマ	シェイクスピアの醸し出す喜劇性。英語の授業において学生のモチベーションをどのように上げるのか？
1年以内に発表予定の研究業績	「Efficacious Potential of Tragic Relief in Shakespeare's Comedies」（英文）『富士大学紀要』第50巻第2号、予定

研究業績

(2017年9月末日現在)

【論文】

1	「As You Like It における喜劇の構造の再考察 ―その祝祭性の劇的効果を中心に―」 『東北』（東北学院大学大学院文学研究科）第29号、1995年1月、29-44頁。
2	「シェイクスピア初期の喜劇における言語と行為の喜劇性」『東北』（東北学院大学大学院文学研究科）第30号、1996年1月、19-38頁。
3	「Measure for Measure における公爵の視点の移動」『東北』（東北学院大学大学院文学研究科）第31号、1997年1月、27-42頁。
4	「Prosperoの真の力」『東北』（東北学院大学大学院文学研究科）第32号、1998年1月、17-34頁。
5	「シェイクスピア喜劇の笑い」『東北』（東北学院大学大学院文学研究科）第33号、1999年1月、1-18頁。
6	「Precarious Delight in A Midsummer Night's Dream」（英文）『富士大学紀要』第32巻第2号、2000年3月、143-158頁。
7	「The Concept of Shakespeare's Comedies: A Re-statement of Laughter」（英文）『富士大学紀要』第35巻第2号、2003年3月、115-150頁。

8	「大学教育における問題の明確化と授業改善のための一考察」(共同)『富士大学紀要』第38巻 第1・2合併号、2006年3月、171-184頁。
9	「A study of Redefining Motivation in L2 Learning」(英文)『富士大学紀要』第39巻第2号、2007年3月、37-46頁。
10	「After Instrumental-Integrative Dichotomy」(英文)『富士大学紀要』第41巻第2号、2009年3月、59-75頁。
11	「Possible Selves as Individual's Ideas over Culture Learning: Reconceptualizing Motivation in Second Language Acquisition」(英文)『富士大学紀要』第43巻第2号、2011年3月、61-83頁。
12	「A Study of Tragic Relief in Shakespeare's Middle Comedies」(英文)『富士大学紀要』第48巻第2号、2016年3月、67-85頁。

【その他の執筆】

1	「文学批評の歴史」『富士大学 星辰』第90号、2017年3月、24-39頁。
---	--

【学会発表】

1	「As You Like It における喜劇の構造の再考察 ―その祝祭性の劇的効果を中心に―」大学院英文学専攻課程協議会第28回大会(於日本女子大学)、1994年11月。
2	「シェイクスピア初期の喜劇における言語と行為の喜劇性」東北英文学会第50回大会(於宮城学院女子大学)、1995年9月。
3	「Measure for Measure における公爵の視点の移動」東北英文学会第51回大会(於秋田聖霊女子短期大学)、1996年9月。
4	「Prosperoの真の力」東北英文学会第52回大会(於尚絅女学院短期大学)、1997年10月。
5	「シェイクスピア喜劇の笑いの特徴」東北英文学会第53回大会(於山形大学人文学部)、1998年9月。
6	視覚障害をもつ生徒の自宅学習支援用ソフトウェア開発のためのニーズ調査(共同研究・日本福祉工学会)、2004年11月。
7	大学教育における問題の明確化と授業改善のための一考察(共同研究・日本福祉工学会)、2005年11月。

【内外における公開講座等の講師】

1	平成26年度 第31回富士大学花巻市民セミナー発表 「ものの捉え方と文学批評――文学批評の歴史を中心に――」、2014年10月
2	平成26年度 SSH特別講義(水沢高校) 「ロシアフォルマリズム以降の文学批評の変容」